

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき全職員が共有し個々の利用者に対して実践している。理念は、スタッフルーム、居間に掲げてあり常に確認でき、全職員で対応している。	その人らしさを大切にという思いから、「お互いを尊重しひとりひとりの暮らしを大切にします」という独自の理念がある。会議では理念を中心に話し合い、共有、実践につなげている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事に参加、隣に地域交流空間わいが家もあり、地域住民、ボランティアと交流している。毎日、隣のスーパーへ買い物外出が日課となっており、近隣神社ほか散歩を通じて日常的に交流できている。	小学校の敬老会に参加したり、プラット新町に小学生が訪問した時には、一緒に交流することもある。近所の方がお茶を飲みに来たり、地域の組合員がボランティアで訪問するなど、地域とのつながりを大切にしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内の診療所、支援センター、隣の小規模多機能サービス、プラット新町、地域交流空間わいが家と共に、地域の方からの福祉相談を受けている。実習生や地域住民の自由な来所(お茶のみ)を行っている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の利用状況、サービス活動状況や評価への取り組みを報告し運営推進会議委員より意見を管理会議や部署会議にて検討しサービスの向上につなげている。	家族、利用者、民生委員、市役所職員、包括センター職員、看護師などのメンバーで開催されている。参加メンバーから医療情報や地域の情報を提供してもらうことができ、有意義な会議となっている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営体制等、市の担当者・地域包括支援センター職員と連絡を取り相談、意見を頂き連携をしている。市の介護相談員の来訪もあり入居者の声を反映できるようサービスの向上に努めている。	行政主催の集団指導を受けており、今月実地指導が入る予定である。介護相談員が2カ月毎に来訪され、外部の風が入る大事な機会と捉えている。また介護保険の代行申請もしているので、密に連絡している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人代表者、全職員が身体拘束の禁止を認識しており行っていない。法人事業所内で身体拘束の研修を行っている。	入居時身体拘束について家族に十分に説明をしている。緊急等やむを得ない場合には慎重に検討し利用者、家族に説明している。施錠はせず外出する方にはさりげなくつきそうようにしている。利用者との信頼関係を大切にしている。	
7	(5-2)	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内では学習会を行い虐待がないよう注意を払い虐待防止に努めている。法人独自のマニュアルを整備している。	利用者の気持ちを一番に考え、居心地良く過ごせるよう配慮している。言葉遣いに気をつけ、管理者又は職員同士、声をかけあって防止に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については実際に活用し入居者の要望に応じて支援している。職員勉強会等で学ぶ機会を設けている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結、解約時には、契約書、重要事項説明書ほか、ホームでの生活全般、医療連携、ほか丁寧に説明し利用者、ご家族と理解、ご了承頂けるよう対応している。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族が意見や要望等、話しやすい環境を整備し日々のサービス提供に反映している。家族が要望、意見を言いやすいように外部機関窓口設置、法人診療所玄関に意見箱を設置、運営に反映している。	居室担当職員が、家族と連絡をとったり、新年会や敬老会には家族にも参加してもらい、意見を表せる機会をつくっている。法人の事業利用委員会で顧客満足度アンケートを行い、結果をサービスに生かしている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は、年4回、職員の提案や意見を傾聴する会議を開催している。管理者は、月1回の職員会議や職員アンケートを通じて運営に反映している。	事業利用委員会で労組アンケートを行い、現場の状況改善に役立てている。職員は管理者に何でも相談することができる。必要があれば管理会議に報告し、法人全体で話し合いを行っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	リフレッシュ助成金支給、福祉関係資格手当支給、実績に応じた賞与の支給ほか各種通信教育の費用補助、福利厚生充実などやりがいのある職場環境と条件に配慮している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人・事業所内で定期的に研修を行い、研修を受講できる機会を設けている。学習委員会やリハビリ、DSIほか法人内事業所が研修会を定期的に企画し実施し職員がいつでも参加できる体制を整えている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協会の研修等、他事業所と交流を持ち、各種研修、事例検討会等によりサービスの質の向上に努めている。法人内、他施設と交換研修も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族見学来訪時、事前面接時、利用者やご家族の要望や身上を傾聴し、その思いや不安を受け止め納得のいく説明を十分行い利用者、ご家族の安心と信頼が得られるように努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接時、相談対応時に家族が一番困っていることや不安に感じていること、要望等を十分傾聴し、安心して頂けるよう信頼関係づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が今必要とされるサービスを見極め本人の背景や緊急性に考慮し他事業所との情報交換を密にしながら対応している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ゆったりとした時間の流れを大切にし共に生活し家事を一緒に行ったり人生の先輩として学び感謝し、暮らしを共にする同士の関係を築いている。		
19	(7-2)	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族がふれあう機会を持ち、家族と寄り添うことを大切にし本人を支えていくための情報を共有し、色んな場面で協力を頂いている。	毎月、ホームだよりや、受診結果などの情報提供書を送付し、家族に様子を伝えている。面会も多く良い関係が保たれているが、ケースにより職員だけでは難しい場合もあり、解決にむけて法人全体で話し合っている。	
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時、毎日、神社への散歩が日課となっている利用者、ホーム生活の中に神社の散歩を実施、お茶のみなど近所の友人との交流、ホームに来訪頂き交流など、今まで大切にしてきた馴染みの関係を継続する。	入居前からの知り合いが会いに来たり、一緒に外出することもある。家族の協力で行きつけの美容院や歯科、墓参りにいくなど馴染みの場所へ出かけることもある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士の良好な関係が築けている。孤立しがちな利用者には職員との関わりを通じてコミュニケーションを図りトラブルの調整や良好な関係を保てるよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設や医療機関へ移られた方へ面会したりサービス終了後もホームに、お茶を飲み気軽に来訪頂けるように信頼関係を大切にしている。サービス終了後も必要があれば連絡相談対応の体制がある。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや生活全般の要望を大切にしている。利用者の日々の言動、表情より思いを読み取り把握し、職員間でミーティングほか検討し共有しケアに反映している。	個別ケアを重視しており、その日その日を楽しみ過ごししてほしいという考えから、居室担当職員が1対1で話を聞き、思いを大切にしている。	
24	(9-2)	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者や家族より生活歴、馴染みの暮らし方、生活環境ほか情報を頂き、また、以前、利用されていたサービス事業者等から情報を得て把握に努めている。	センター方式を活用し、継続して把握することに努めている。3ヶ月に一回は居室担当職員が新しい情報をもとに見直している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日々の生活記録等により、ミーティングほか、職員間で共有し現状の把握に努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の関わりケア対応の中で、利用者個々の言動を見落とさず情報を収集し計画作成担当者、担当職員が中心となり定期的に検討会を実施。現状に即した介護計画を作成している。	3ヶ月に一回は評価、6ヶ月に一回は検討会議を行い、アセスメントしている。何かあれば、いるメンバーで即話し合いを行い、変更することもある。必要があれば家族からも意見をもらって、計画に反映させている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子、日々の状態変化など個別記録や職員連絡ノートを使用し全職員が情報を共有できるように徹底している。日々のケア対応や介護計画の見直しに活かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて法人機関、母体診療所と連携を密にし常に柔軟な対応をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接の地域交流空間わいが家(足湯、機能訓練、各趣味の教室ほか)、催事の利用と地域ボランティア、近隣の住民の来訪など地域行事等の参加など生活に潤いをもって生活できるよう支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人および家族の希望している医療機関へ受診している。主治医や医療機関との連携を密にし日々の状態を報告し対応している。	現在は全員同法人の診療所を受診しているが、他の医療機関への受診も可能である。定期的に認知症専門医を受診している。月に2回診療所医師の往診がある。医療情報を毎月家族に郵送している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態変化により24時間、母体診療所、看護師との連携を密にしている。月2回の看護師の訪問ほかホームスタッフは気軽に相談でき状態変化に応じた対応を行っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は病院関係者と十分な情報交換を行いご家族との連携をし早期退院に向けた対応を行っている。又、母体診療所医師に状況を報告し退院後の受け入れ対応について相談を実施している。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者や家族の意向を大切に家族、医師、看護師、職員と対応方針を十分話し合い共有しその人らしい終末期を迎えられるよう支援に努めている。看取りの対応があり今後の課題として職員看取りケアの質の向上を目指す。	昨年6月に看取りを行い職員の自信となったが、前準備や看護師との連絡や症状の把握等勉強不足の事がわかった。看取り後の職員へのアンケートからも改善点が指摘された。	24時間医療連携体制があり、看護師と密に連絡がとれ、重度化や終末期にも対応できることは事業所の強みになり、看取りケアの向上が期待される。
34	(12-2)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署職員による救命救急講習会をホームほか法人内での講習会に受講している。母体診療所医師より講師として指導頂いている。	消防署職員や母体診療所医師から救命救急講習を受けている。隣接の小規模多機能の看護師の助言や手助けもいつでも受けられ、学ぶ機会が多い。	
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難 消火訓練を実施し学んでいる。個々の予測できる急変対応については診療所、医師、看護師より指導頂いている。	合同訓練には地域の組合員の協力も得られている。中越地震の時、診療所の2階に避難した経験があるが、当時より高齢化が進み、避難場所への誘導に不安がある。	避難場所や避難経路は確認しているが、実際に利用者を避難場所まで連れて行った事がないため全職員が避難方法を身につけることが望ましい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重しプライドやプライバシーを大切にしたケア対応を常に心がけている。職員の言動や、ケア対応には十分に注意しお互いに声かけし合える環境作りに努めている。	利用者が恥ずかしいと思うようなことを言ったり、したりしていない。トイレに行こう等言わず、言葉遣いに注意し礼節を持って接している。記録は利用者に見えないように書き、書類は戸棚に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の各場面で自己選択決定できるようなケア対応を行い、意思表示の困難な方には表情から利用者の思いを読み取り自己決定できるように支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースを大切にし本人の気持ちや意向に添えるよう個別性のある支援をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者個々の好み意向をお聞きし家族からも聞きながら、その人らしい身だしなみができるよう支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の可能なことを見極めながら利用者と職員が共に準備や後片付け、買い物外出など一緒に献立を考えたり、楽しく関わりをもって支援している。	1日2回利用者を誘って、買い物に行っている。買い物をしながら、何が食べたいか聞き、好みを取り入れている。職員と利用者は一緒に楽しく食事をしている。誕生日にはケーキを食べてお祝いしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事形態、食事量、栄養バランス、水分量ほか職員が利用者の嗜好、各状態に合わせた献立を考案、法人施設の管理栄養士から毎月献立を評価・指導頂き、食事が利用者を楽しみとなるよう支援。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者個々の状態に応じた見守りやケア対応を行っている。食事後、就寝前は義歯の洗浄、うがいほか口腔ケアを行い、利用者個々に配慮し清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し個々の排泄サイクルを把握し利用者個々の状態に合わせた支援について検討し排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者全員のチェック表があり、毎日の排泄を把握している。高齢であるため布パンツへの移行は難しい。トイレ動作などは必要以上に介助せず、できる範囲で自立を促している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者個々の排便状態を常に把握し水分摂取、食事内容の改善(食物繊維、乳製品を含む食品ほか)など検討し利用者個々にあった対応を行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者の体調や状況、入浴時間、順番など意向に配慮しゆったりと入浴を楽しむことができるよう利用者個々に添った支援をしている。	入浴は希望があればいつでもできるが、希望はたまにしかない。拒否された時はタイミングを変えて誘ったり、日替わり入浴で楽しんでいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の生活パターンやその日の状態により、昼寝ほか休息が取れるように配慮している。眠れない利用者には、十分話を傾聴したり、温かい飲み物などお出し安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の服薬処方箋ファイルを作成し常時、把握し服薬管理や服薬支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者個々の今まで過ごして来られた生活の中での役割や生活歴を大切に、ホームの生活で可能なことは継続したりホームでの役割も見出し外出の機会を多くし楽しめるよう支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的にその日の天候や利用者の体調を考慮して、散歩や買い物、ドライブ等外出の機会を設けている。	定期的に花見、ハイブ長岡、紅葉、地域のイベントなど外出支援に努めている。近くの神社、プラット新町、わいが家などに遊びに行くなど、日常的に外出している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者や家族の同意を得て所持されている方もいるが個々の状態に応じた支援を行っている。事業所で管理されている利用者も状況に配慮したケア対応を行い金銭を使用頂いている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に対応や職員の良好な配慮あるケア対応で電話や手紙のやり取りができるように支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の草花を飾り、馴染みのある地域の方、利用者の写真、家庭的な雰囲気大切に装飾品や空間と和風調の穏やかな光と生活感や季節感を大切に居心地よく過ごせるように工夫している。	誕生会や行事の写真が壁一面に貼ってあり、楽しい思い出となっている。食事時のテーブルにつく位置も仲の良い利用者同士になるように考え工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングやソファ、畳コーナーがあり、利用者居室廊下、中央部には腰かけて過ごせるスペースもあり、それぞれ個々に過ごせる場所がある。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、慣れ親しんだ馴染みのある物品をお持ち頂くようご理解頂き、その方らしい居室、居心地の良い居室作りを支援している。	障子があり、和風の造りになっている。仏壇やたんすなど持ち込んだり、花を飾ったり、季節ごとに模様替えするなど、本人らしい居室となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境作りを目指し、その都度検討し環境物品ほか改善に努めている。利用者個々のADLや状況にあわせ出来ることわかることを活かせるよう工夫や検討を行っている。		



サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない